

# 平成28年度事業は適切に実施されたか 町内事務調査（総務厚生常任委員会）

## ○大崎町観光案内板設置工事

本町観光施設へ適切に誘導するための案内標識板を町内4箇所に設置したものである。施設整備費は、491万6341円で、財源の内訳は、鹿児島県地域振興推進事業補助金や過疎対策事業債等となっている。



観光案内板設置工事を調査

## ○大崎救急分駐所増築工事

既存の大崎分署（大崎救急分駐所）

に消防車輛が導入されることから、その導入に対応するため建物の増築を行ったものである。施設整備費は、2073万6000円で、財源の内訳は、過疎対策事業債及び一般財源となっている。



大崎救急分駐所増築工事を調査

### 要望事項

大崎分署は、町内における救急活動の拠点となることから、あらゆる状況においても対応できるような体制のあり方をとられるよう求めた。

## ○耐震性貯水槽新設工事・高尾地区

町総合体育館駐車場内に新設されたものである。施設整備費は、529万2000円で、平成28年11月28日に完成しており、財源の内訳は、国庫補助金と過疎対策事業債となっている。



耐震性貯水槽新設工事を調査

### 要望事項

防火水槽は、災害時における非常用設備であるため、今後も点検を重視していくよう求めた。

## ○避難誘導灯設置工事

災害時における一時避難所への避難誘導灯であり、町道三本松く文化通線を重点に太陽光発電式街路灯を歩道に20基設置したものである。施設整備費は、893万1600円で、平成29年2月23日に完成しており、財源の内訳は、鹿児島県公共施設再生可能エネルギー等導入推進基金事業費補助金で全額賄われている。

### 要望事項

避難誘導灯の目的や設置による効果など、非常時における誘導灯として住民にも啓発されるよう求めた。



避難誘導灯設置工事を調査